

第4号様式(第10条関係)

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会委員の委嘱 及び第1回市立温泉施設在り方検討委員会
開 催 日 時	令和5年3月30日(木) 午後1時30分～午後3時
開 催 場 所	中部地区会館401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席委員：毛谷村委員、宮本委員、栗原委員、内野(正明)委員、内野(均)、井上委員 事務局：協働推進部長、産業観光課長、産業観光課観光係長、産業観光課観光係主事、コンサルタント会社
議 題	1 武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会委員の委嘱 (1) 委嘱書の交付 (2) 市長あいさつ (3) 委員及び事務局の自己紹介 2 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任 (2) 会議の公開について 3 報告事項 (1) 武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会について (2) 武蔵村山市立温泉施設について (3) これまでの検討経過について 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	2 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任 委員長は毛谷村委員、副委員長は宮本委員に決定する。 (2) 会議の公開について 会議を公開する。 3 報告事項 (1) 武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会について ア 令和5年10月までに第6回を開催し、11月に市長に報告をする。 イ 令和5年度中に方針を決定する。 (2) 武蔵村山市立温泉施設について 特になし (3) これまでの検討経過について 特になし 4 その他 第2回の検討委員会は5月下旬の開催予定。日程は事前に調整する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印=委員長 ○印=委員 ●印=事務局	1 武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会委員の委嘱 (1) 委嘱書の交付 (2) 市長あいさつ (3) 委員及び事務局の自己紹介 2 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任 事務局より資料3に沿って説明。 (質疑) ○ 事務局案があれば提案いただきたい。 ● 事務局としては委員長に毛谷村委員、副委員長に宮本委員を推

薦したい。

- 異議なし。

(結論)

委員長は毛谷村委員、副委員長は宮本委員に決定する。

(2) 会議の公開について

事務局より資料2に沿って説明。

(質疑)

- 異議なし。

- ◎ 異議がないため、会議を公開することとし、「武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会の会議の公開に関する運営要領」を原案とおりに定めることとする。

(結論)

会議を公開する。

### 3 報告事項

(1) 武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会について

事務局より資料3及び資料4に沿って説明。

(質疑)

- 会議日程はいつ決定するか。

- 各回、1か月前までには委員のスケジュールを調整し決定する。

- 月に2回開催、1回省略等の可能性もあるのか。

- 状況によって判断したいが、今のところ、予算やスケジュールの関係上、可能性は低い。

(2) 武蔵村山市立温泉施設について

事務局より資料5に沿って説明。

(質疑)

- 資料5、p13の収支状況は指定管理者の収支か。

- 指定管理者の収支である。

- 赤字となっているが、指定管理者が赤字を負担しているのか。

- 指定管理者が赤字を負担している。

- 修繕や改修の費用は、誰が負担しているのか。

- 修繕については、10万円以上の費用が発生するものは、市が負担している。改修については、指定管理期間終了の際、その都度、指定管理者の意見を踏まえ、必要な改修を行っている。

- 当該施設だけではなく、周辺地域も含めて総合的にPRができれば良いのではないか。

- 本委員会の目的として、黒字化するためにアイデアを出し合うのか、廃止もやむを得ないとした上で議論するのか、どのような議論の進め方か。

- 市にとって、観光の核となる貴重な施設という認識であるが、今のままでは指定管理者を見つけることは難しい。指定管理料を支払えば、手を挙げる事業者はいるかもしれないが、支払うのが妥当かという議論もある。様々な可能性について検証し、御意見をいただきたい。

- 指定管理料を支払わず、意義のあるものになれば一番良い。

- 現在は、指定管理料を支払わない完全利用料金制を取っている。なお、市の指定管理者が管理する他の公の施設については、指定管理料を払っている。

- 市に修繕費や改修費を出してもらえることを前提に、事業者は経営計画を立てて運営を行っている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武蔵村山市と国立市は面積・人口が同じくらいだが、市内に落ちるお金は随分異なっている。武蔵村山市内の人は市外でお金を使う。武蔵村山市内が観光地化され、市内でお金が使われるようになれば経済的には良い。</li> <li>○ 直営に戻すことはないのか。他自治体の施設において、指定管理を行っていたが、直営に戻すところが出てきているという話を聞いたことがある。</li> <li>● 庁内でも同様の意見が出ている。一つの選択肢として、その可能性もある。</li> </ul> <p>(3) これまでの検討経過について 事務局より資料7、資料8、資料9、資料10に沿って説明。 (質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 事前に施設を見学したが、立派なしっかりしたつくりの施設であった。一方で、中身については、スーパー銭湯と比較すると、面白みが足りない。現状は、近所の銭湯に行くような感覚の施設となっている。銭湯を求めるような利用者は、プールはあまり利用しないが、だからと言って、プールが身体を鍛えるような特化したものでもなく、温浴施設もプールも中途半端な印象を受けた。 こうした特徴を踏まえると、営業内容に対して、施設がオーバースペックとなっており、維持管理のお金がかかりすぎているのではないかと。集客力を高めなければ、民間事業者による営業継続はかなり厳しいと予測される。 そうした中で、我々として、何を提案していくか、これからよく皆さんと議論したい。 また、当該施設だけでなく、アスレチック、歴史民俗資料館等と相互に集客できれば良いが、敷地の境界があり、スムーズに入りにくい状況でもったいない。市として改善できること等にも踏み込んで、提案をまとめたい。</li> <li>○ 以前は、駐車場や店前でイベントを行ったり、ウォーキングの中継地点になっていた。人が集まれる場所になると良いのでは。</li> <li>○ 外から人を集める必要がある。もっと宣伝してはどうか。 また、周辺施設との連携という面では、キャンプ場、RVパーク等はどうか。 当該施設の近くに、屋外プールがあるが、あまり知られていない。周りにある資源をうまく活用し、総合的にエリアの活性化を図る必要があるのではないかと。</li> <li>○ 温浴施設の場合、光熱水費が収支を圧迫しているのではないかと。特に、当該施設は水温が低く、温める必要があるため、大変だと思う。</li> <li>● 当該施設は、灯油を使って22度程度の温泉を温めている。また、1週間に一度、温泉の入替えを行う必要があり、そうした面で負担は大きいと認識している。</li> <li>○ 収支状況を判断するために、もう少し詳しく、収支の内訳について知りたい。</li> <li>● 承知した。次回、資料を用意する。</li> <li>◎ これから高齢化が進むため、こうした施設では高齢者の利用が増える可能性がある。そうした面を考えると、車いす対応等を充実させる必要がある。また、福祉施設の一部とするという考えもあるかもしれない。 先程意見があったが、キャンプ場等を併設するというのであれば、施設を作る必要はないので、負担の少ないアイデアとして</li> </ul>
--	--

	<p>可能性がある。 いずれにしても、今のままでは施設存続が難しいという判断になる可能性もある。</p> <p>4 その他 (説明) ● 第2回の検討委員会は5月下旬の開催予定。日程は事前に調整する。</p>
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： _____ 0人
-----------------	---	---------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____ ) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： _____ )
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 産業観光課(内線：224)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)